

農産情報 2009年/11月号



イズックス株式会社

- 東京本社 東京都中央区日本橋室町 2-1-1
TEL:03-5201-1021 FAX:03-5201-1030
- 大阪支店 大阪市北区中之島 3-3-3
TEL:06-6448-5701 FAX:06-6448-5684
- 福岡支店 福岡市博多区博多駅前 2-20-1
TEL:092-436-1977 FAX:092-475-1123

《 国内の野菜 》

10月上旬は好天も続き、関東産が順調に生育し、夏場の高騰から一転して安値で移行しました。しかし、10月8日から9日にかけて日本を縦断した、台風18号の影響で各産地は大きな被害がでております。その影響から、農産物の価格は高騰しており、市場では入荷が減少しております。

< 北海道 >

既報の通り、日照不足と多雨の影響が大きく、作物によっては、大幅な減産が見込まれています。

とうもろこし：減収のため、各産地とも10月上旬まで生産を延長したが、全体的に20～30%減の見込みです。全体的に小ぶりで飼料用のとうもろこしは、でん粉質不足が懸念されます。

ばれいしょ：多雨による腐れなどで大きなダメージを受けた畑もあり、全体的に減産傾向にあります。そのため青果の馬鈴薯が高騰し、コロッケ・サラダ等の原料が不足。冷凍品の引き合いが増えております。

かぼちゃ：収穫の後半に入ってきております。しかし、日照時間の不足と多雨の影響で、40%の減産の見込みとなっております。

えだまめ：収穫は9月上旬から始まり10月上旬までを予定しておりますが、冷夏の影響で減産傾向です。むき枝豆の加工は収穫が全て終了してからになります。

< 関東 >

小松菜：9月中旬より収穫が開始され、11月いっぱいまでを予定しております。

ほうれん草：9月上旬に播種が終わり、収穫は11月以降の予定です。

< 九州 >

さといも：収穫が開始されましたが、多雨及び日照不足が影響し、反収は低下しております。昨年よりも栽培面積を増やした事で収穫量の大幅減は免れましたが、価格の動向に注意が必要です。

ほうれん草：9月上旬より播種を開始しましたが、発芽はしたものの高温、多雨の影響から9月末には、ほぼ全滅してしまい、播種のしなおいを余儀なくされています。この影響から、収穫は遅れ、減産の見込みです。

《 中国の野菜 》

中国国家统计局は、今年第3四半期（7～9月）の国家総生産（GDP）が実質で前年同時期8.9%増加したと発表しました。1～9月でみると前年同期比7.7%の進捗となっております。中国の景気回復傾向は際立っており、そのため、農産物も内需への需要が高まり、高値で移行しております。

< 山東省 >

9月から10月にかけて、降雨量が例年の10%しか降っておりません。そのため、旱魃となっており、農作物に影響が出ております。

● 主要農産物の状況

ほうれん草：10月末より収穫を開始しております。収穫は順調で、11月末まで収穫をいたします。

こまつな：10月20日頃から収穫を開始いたしました。作柄は順調です。

ちんげん菜：小松菜同様10月20日頃から収穫を開始しております。作柄は小松菜同様順調です。

にんじん：11月中旬の収穫予定です。旱魃の影響により、例年よりサイズが小粒です。そのため、シャトーキャロット、花形人参などに使用する人参が少なく、価格は高騰する模様です。

さといも：5、6年前からの栽培面積の減少の流れは、昨年から更に加速し、今年の栽培面積は2年前の半分位になっております。また、旱魃の影響から今年の里芋は品質が悪く、反収が悪く、収穫量も大幅に減少しております。不作、原料不足から今年度は30%～50%高の状況となっております。

< 浙江省・福建省 >

浙江省臨海地区では、50年ぶりの大雨に見舞われ、一部の農産物に大きな影響を与えております。その他の地域では、高温、少雨で旱魃気味であり、農作物に影響を与えております。

● 主要農産物の状況

ま ち く：収穫は後期に入っております。国内での需要から価格は昨年よりも若干高めとなりました。

オ ク ラ：収穫は後期に入りました。収穫は順調です。

枝 豆：収穫、加工のピークを迎えております。栽培面積の減少、高温の影響から減産となっております。

ブロッコリー：臨海地区での大雨の影響から、約30%位のブロッコリーに被害が出ております。そのため、12月からの収穫は減産になる見込みです。また、収穫時期が遅れ、気温が高くなり、虫の混入が心配されます。

カリフラワー：ブロッコリー同様、臨海地区での大雨の影響を受けております。

しいたけ：11月の収穫に向け、順調に生育しております。

《 諸外国の野菜 》

< タ イ >

フルーツ：商品が入荷し始めました。詳細については各営業にお問い合わせ下さい。

インゲン：7－9月のシーズンは例年に比べ雨量が多く、また一部地域で病害が発生したため生産量が半減しております。一方でチャイナフリーの影響により、タイ産商品の人気は高まっております。

< エクアドル >

ブロッコリー：供給が不安定でした本商品ですが、出荷体制も整い、現地から順調に出荷され始めました。詳細については各営業にお問い合わせ下さい。

< アメリカ >

グリーンピース：収穫も無事に終了し、品質も良好です。

ホールコーン：6月以降の好天により生育条件が整い、豊作が見込まれます。

< メキシコ >

ブロッコリー：現在順調に収穫及び生産をしております。

以上

